

2008年12月8日

## スバルブランドの自転車「SUBARU XB」発売

富士重工業は、スバル車ユーザーが生活をより楽しむための提案として、街中から草原まで場所を問わずに快適に走行できるスバルブランド初の自転車「SUBARU XB（スバル エックスビー）」の発売を決定した。

今回商品化された「SUBARU XB」は、マウンテンバイクをベースとしたクロスバイク\*。富士重工業の関係会社でスバル車の用品の開発・販売を手がけるスバル用品（代表：石藤秀樹、埼玉県さいたま市）が企画、販売も担当する。受注生産方式をとり、99台限定で価格は360,000円（消費税込み）。本日12月8日から注文受付を開始する。

クロスバイク…舗装路での高速走行を目的としたロードバイクと、オフロードでの走破性や耐久性を重視したマウンテンバイクの双方のメリットを両立した自転車。マウンテンバイクと比較し、一般には、軽量で大口径のホイールを持ち、市街地走行での扱い易さ、快適性を実現している。

フレームにはクロームモリブデン鋼を用いて、しなやかさと耐久性を兼ね備え、振動減衰特性や耐局部衝撃性に優れた設計が施されるとともに、パイプ接合部の仕上げの美しさにもこだわったオリジナルデザインのものを採用し、日本国内のフレーム専門メーカーで製作。

ギアやチェーン、ブレーキなどのコンポーネンツには日本のシマノ製“SHIMANO XT”を採用したほか、タイヤはフランスのミシュラン製“COUNTRY rock”、ホイールはフランスのマヴィック製“CROSSRIDE DISC”、サドルはイタリアのSelle ITALIA製“C2 GEL FLOW”など、各パーツとも世界で高く評価されるトップブランドのものをそれぞれ装備、スバル車のものづくりにも通じる「本質を追求した」商品となっている。

注文開始にあわせ、東京スバル（代表：塚原穰、東京都渋谷区）の恵比寿店、名古屋スバル自動車（代表：水野育己、愛知県名古屋市）の名古屋楠店、大阪スバル（代表：羽太雅彦、大阪府守口市）の守口店の3拠点で実車展示を行い、展示拠点での店頭注文に応じる予定。

富士重工業は、これまでもサイクルスポーツ、特にロードレースとは深いかわりがあり、スバルグループでチームや選手のスポンサー実績があるほか、栃木県宇都宮市で開催されるUCI（国際自転車競技連合）公認大会“ジャパンカップ”のゴールドスポンサーとしてオフィシャルカーの提供を行うなど、多くの主要なロードレースの運営支援を長年続けている。

